

# 県中農林ニュース

ふくしまから はじめよう。『食』と『ふるさと』 新生運動ニュース



☆6 ページで紹介している県オリジナル品種  
「福、笑い」のパッケージ

第20号（令和2年10月30日発行）

～目次～

○福島県農業賞受賞者を御紹介します

P. 1

○農林業関係の動き P. 2-7

○頑張る農林業者 P. 8

○おいしい6次化商品 P. 8

○お知らせ P. 9-10

編集・発行 福島県県中農林事務所

## 福島県農業賞受賞者を御紹介します！

9月9日に、杉妻会館（福島市）において、第61回福島県農業賞の表彰式が開催されました。今年度の農業賞（農業十傑）は、農業経営改善部門8件、復興・創生特別賞2件が表彰されました。県中管内からは、農業経営改善部門<sup>こばやししょういちろう</sup>\*1で小林正一郎さん・良子さん<sup>よしこ</sup>ご夫妻が受賞されました。

小林ご夫妻は、郡山市片平町で水稻の大規模経営を家族労働により営んでおり、情報通信技術（ICT）によるほ場管理システムを導入し、水田一筆毎の的確な管理を行うことで安定的な収量を維持し、作業の効率化に努めています。

さらに、地区の「人・農地プラン」<sup>2</sup>\*2策定など、地域の農地を守る活動への貢献等も高く評価され晴れの受賞となりました。

※1 経営内容が計画的であり、生産性が高く経営の安定性・発展性が見込まれ、特に農業経営の改善が顕著である個別経営体（法人を除く）及び農業法人に贈られる賞です。

※2 農業者が話し合いに基づき、地域農業における中心経営体、地域における農業の将来の在り方などを明確化し、市町村が作成するプランです。



【内堀知事を囲んでの記念撮影】

## ～農林業関係の動き（トピックス）～

### 県中地方鳥獣被害防止対策担当者研修会を実施しました！

【農業振興普及部】

8月26日に、県三春合同庁舎（三春町）において、市町村やJA担当者を対象に県中地方鳥獣被害防止対策担当者研修会を開催しました。

始めに、県環境保全農業課の佐藤那美有害鳥獣対策推進員を講師に、イノシシ等の鳥獣種の特徴や被害対策に必要な基礎知識について学びました。

次に、各市町村の活動から見えてきた現状と課題として、積極的に対策を行っている集落では被害が抑えられている一方で、担い手不足に伴い電気柵等の維持管理が難しくなっていることについて情報共有しました。

また、関連事業の事務や被害防止計画策定上の注意点を確認するとともに、今年度設置している総合的な対策を行うモデル集落を紹介し、理解を深めました。

今後も関係者と連携し鳥獣被害防止に努めてまいります。



【佐藤推進員による講義】

### 畑の学校で大根の種まきを行いました！

【農村整備部】

「畑の学校」は、『農育』の推進を図るとともに、子供たちとの交流を通じて地域住民等の活動を活性化させることを目的として、2年前より県立たむら支援学校（田村市）で実施しています。

今年度の「畑の学校」は6月12日に開校式を行い、3回目となる今回は8月31日に小学部1～3年、4～6年、中学部の3班に分かれて大根の種まきを行いました。今後は11月9日に育てた野菜を収穫し、11月13日に収穫祭と閉校式を行う予定です。



【種まき中です！！】



【早くおおきくな～れ！！】



## 令和2年度福島県優良建設工事表彰式が行われました！

【農村整備部】

9月4日に、令和2年度福島県優良建設工事表彰式がコラッセふくしま（福島市）で開催されました。

当事務所が発注した「〔復興〕経営体育成基盤3001工事 沢井地区」（石川町）で株式会社福産建設（代表取締役 吉田一治）が施工した工事に対し、出来映えや現場の体制、創意工夫などが極めて優秀であると認められ、農林水産土木工事のほ場整備部門での受賞となりました。

受賞概要については、県農林技術課ホームページに掲載してありますので下記URLからご覧ください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36005c/nr-gijutsu-yuryoukouji.html>



【表彰された沢井地区のほ場整備】



【内堀県知事から賞状を受け取る吉田さん（左）】

## フレッシュ農業講座を開催しました！

【田村農業普及所】

9月11日、17日に、県立小野高等学校（小野町）の産業技術系列の生徒33名（2年生17名、1年生16名）を対象に、フレッシュ農業講座を開催しました。

本講座は、地域農業者との交流や意見交換、生産現場の視察を通じて、就農への動機付けや農業に対する関心を高めることを目的としています。

2年生は田村市エゴマ振興協議会による講義やほ場見学、三春町かおるブルーベリー園によるブルーベリージャムの加工実習、1年生は管内のトマトやピーマンほ場、直売所、株式会社JA和牛ファーム福島さくらの視察を行い、6次化や管内の農業の概要、栽培技術・農業経営について、様々な質問や意見交換が行われました。



【ブルーベリージャムの作り方を教えていただきました！】



【株式会社JA和牛ファーム福島さくらの牛舎を見学しました！】

## 第5回 J A 夢みなみ育成管理共進会が開催されました！

【須賀川農業普及所】

9月19日に、種牛性・産肉性の優れた質量兼備の牛群整備と、飼養管理技術の向上を目的に、第5回 J A 夢みなみ育成管理共進会が J A 夢みなみ 畜産センター（石川町）で開催されました。生年月日等の出品区分で、第1区から5区まで分けられ、体重や体高、肉付きや毛並みなどを基準に全48頭が審査されました。

審査の結果、13頭が優等賞に選ばれ、その中から、須賀川地区東部支部の佐久間利靖さんの「きよみ号」が見事グランドチャンピオンに選出されました。

優等賞に選ばれた13頭は J A 夢みなみの代表として、10月23日に福島県家畜市場（本宮市）で開催された第30回 J A グループ和牛育成管理共進会へ出品されました。



【審査の様子】



【グランドチャンピオンに輝いたきよみ号】

## 「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン農林水産物 P R とプレゼント抽選会（第1期）を開催しました！

【企画部】

当事務所では、県産農林水産物の消費拡大と販売促進のため、「第三者認証 G A P」をテーマに「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを実施しております。県産農林水産物 P R では、9月25日に、株式会社 J A あぐり夢みなみ はたけんぼ（須賀川市）において200名の消費者へ J G A P を取得した渡辺果樹園（須賀川市）の日本なしやジェラートのプレゼント等を行いました。

また、10月9日にプレゼント抽選会（第1期）を実施し、県中地方の「がんばろう ふくしま！」応援店のうち22常設直売所の購買者より応募のあった190名（1,067口）の中から、家久来県中農林事務所長がくじ引きにより当選者30名を決定しました。当選者へは、F G A P を取得した『果物畑』鈴木果樹園（須賀川市）のりんごや6次化商品等の詰め合わせ、または農体験チケットをお送りしました。

第2期（～11/30）も、たくさんのご応募をお待ちしております。



【須賀川市産日本なしの P R】



【第1期の当選者が決まりました！】

## 新・農業人フェアへ出展しました！

## 【田村農業普及所】

9月27日に、池袋サンシャインシティ（東京都）において開催された、首都圏を中心とした全国の就農希望者に対する就農相談会に出展しました。フェアには、市町村や農業団体、農業法人など全国から72ブースの出展があり、1,200名以上の来場がありました。新型コロナウイルス感染防止対策のため当普及所はオンラインでの出展となりましたが、田村地域就農支援プロジェクトのブースには9組、郡山市のブースには8組の方が相談に訪れ、就農や生活について熱心に聞き入り、就農に向けた具体的な質問も出されました。

今後も新規就農者の確保のため、遠方からの就農希望者に対し、オンラインによる相談会等も活用しながら、就農に向けた支援を関係機関・団体と連携して実施してまいります。



田村農業普及所からオンラインで就農相談を行いました！

### 「ふくしま農業人フェア」開催のお知らせ！

県内最大級の就農相談会が開催されます！県内の自治体や支援団体、農業法人などが出展される予定です。県中管内からも新規就農と雇用就農ブースに出展を予定しております。農業に興味のある方、就農を考えている方など、ご来場をお待ちしております！

日時：令和2年11月15日（日）12時30分～

場所：ビッグパレットふくしま（郡山市）

### ふくしまフェスタ in 道の駅あいづ 湯川・会津坂下で「ふくなかすい一つ」のPRをしました！

#### 【企画部】

9月27日に、ふくしまフェスタ in 道の駅あいづ 湯川・会津坂下（湯川村）に出展し、6次産業化に関する意識調査と「ふくなかすい一つ」のPRを行いました。

来場者に「加工食品を初めて購入する際に重視するポイント」を伺ったところ、原材料や添加物を気にされる方が多かったことから、6次化商品の消費拡大のひとつのポイントとして、原材料である農産物の付加価値（GAPや有機栽培等）をPRすることが消費者の関心を引くことにつながるのではと感じたところです。

また、調査に御協力いただいた方に「ふくなかすい一つ」をプレゼントし、「ふくなかすい一つ」の知名度向上を図りました。皆様からは「おいしそう！」や「スイーツ大好き！」と、とても喜んでいただけました。



株式会社宗（平田村）と共同出展した6次化意識調査と「ふくなかすい一つ」PRブース



県内各地の団体から出展があり、沢山の来場客で賑わっていました！

## 令和2年度田村地方植樹祭が行われました！

【森林林業部】

10月6日に、こまちダム（小野町）において、田村地方植樹祭が開催されました。

令和2年度緑化運動のテーマである「木を植えて 守り育てる 緑の大地」に基づき、地域住民の緑化に関する理解と認識を高め、豊かな地域環境を育むことを目的に、緑化功労者、学校環境緑化推進校、森林環境教育推進校の表彰等の式典と記念植樹が行われました。

記念植樹では、代表者によるイロハモミジの植樹が行われ、モミジの成長や紅葉を楽しみにする声が聞こえました。

- ・ 緑化功労者 かんのとらき 菅野虎毅さん（田村市）、つばいまさや 坪井正弥さん（田村市）  
わたなべよしあき 渡辺泰馨さん（三春町）、ぐんじひょうすけ 郡司兵助さん（小野町）
- ・ 学校環境緑化推進校 県立小野高等学校（最優良校）  
田村市立船引中学校（優良校）
- ・ 森林環境教育推進校 三春町立中郷小学校（最優良校）  
小野町立小野小学校（優良校）



【記念植樹の様子】



【参加者で記念撮影】

## 福島県オリジナル水稲新品種「福、笑い」が収穫されました！

【農業振興普及部】

令和3年の本格デビューを前に郡山市内で先行栽培していた「福、笑い」が、秋空の下、10月6日に収穫されました。

今年は、梅雨の長雨により、倒伏や病気の発生が心配されましたが、どちらもほとんど見られず順調に生育し「倒れにくく、いもち病にかかりにくい」という「福、笑い」の特徴を確認することができ、生産者も収量・品質ともに手応えを感じていました。

今後は、高価格帯での販売を目指すため、出荷基準（タンパク含量 6.4%以下※）検査を行い、合格品は11月10日から令和3年1月11日まで先行販売されます。

県内では、うすい百貨店（郡山市）とコラッセふくしま（福島市）、その他首都圏の百貨店等やオンラインでも販売されます。

※タンパク含量が多いと食味が低下するので、基準値を定めています



「福、笑い」を収穫中の生産者  
えんどうあきお 遠藤昭夫さん

## 電照栽培による小ぎくの需要期安定出荷技術について実証を行いました！ 【須賀川農業普及所】

当普及所管内では、夏秋小ぎくの栽培が盛んに行われています。しかし、季咲き栽培が中心であるため、気象の影響を受けやすく出荷期が前後してしまい、お盆や秋彼岸の需要期出荷が難しい状況を生じる場合があります。そこで、気象の影響を受けにくく出荷時期の調整が可能になる小ぎくの電照栽培の現地実証を行いました。

実証を行った、「精はんな（赤）」、「精しずえ（白）」、「精こまき（黄）」の3品種ともに4～10日開花を遅らせることができ、需要期出荷の割合が高まりました。

また、電照区は花芽分化が抑制されたことにより節数が増加し、草丈が十分に確保できたため、80cm規格の出荷数が増加しました。

今後は、産地に合った栽培方法を確立するため、挿し苗・定植・電照を切る等の管理の実施時期について検討していきます。



【電照栽培の様子】

## 「たむらのエゴマ」が収穫最盛期を迎えています！

### 【田村農業普及所】

田村市でエゴマの収穫が最盛期を迎えています。当市での栽培の歴史は古く、市民の間では「じゅうねん」として親しまれ、油や冷やだれ（えごま入りみそドレッシング）等、日常生活に溶け込んでいます。

今年度、市内の既存組織が再編され、「田村市エゴマ振興協議会」が設立されました。収穫されたエゴマは、油や米飴キャラメル、ショコラ等、様々な商品に加工されており、農産物直売所 ふあせるたむらやJR船引駅（共に田村市）等で購入することができます。詳細は、田村市エゴマ振興協議会事務局（田村市産業部農林課内 TEL 0247-81-2511）までお問い合わせください。



【機械によるエゴマ収穫】



【エゴマ油（左:生搾り、右:焙煎）】

## ～頑張る農林業者～

### ■有限会社アグリサービスあさか野 代表取締役 すずきかずひろ 鈴木一弘さん（郡山市）

鈴木さんは郡山市内で水稲、大豆を中心に約70haの大規模経営を行う有限会社アグリサービスあさか野の代表取締役を務められています。

経営の中心は水稲で、「コシヒカリ」を主とした主食用米の栽培を行い、特別栽培<sup>※1</sup>、直播栽培<sup>※2</sup>にも取り組んでいます。

また、食味値や認証GAP取得など7項目の基準のある「ASAKAMA1887」に平成30年度から取り組み、ブランド米にも力を入れています。

今後は、地域農業の担い手として農地の集積をさらに進めて水稲、大豆の規模拡大を図るとともに、特別栽培や直播栽培の拡大、大豆の農産加工による高付加価値化を目標としています。

米の販売価格が低下傾向の中、「収入の安定のためには飼料用米など新規需要米の栽培が鍵であり、今後拡大していきたい」と語っていました。

※1 対象農薬の使用回数、化学肥料の窒素分量を地域の慣行と比べてそれぞれ50%以下で行う栽培方法

※2 水田に育てた苗を植える従来の方法（移植栽培）に対し、水田に直接種をまく栽培方法



【籾摺作業中の鈴木さん】

## ～おいしい6次化商品～

ふくなかすいーつ消費拡大キャンペーンと商品をご紹介します！

ふくなかすいーつ（県中地方産または福島県産の農産物を使用して県中地方で作られたお菓子）の知名度向上と消費拡大を目的としたプレゼントキャンペーンを実施しています。11月1日（日）～12月26日（土）が第2期の応募期間です。今年度の本キャンペーンは今期で終了となりますので、奮ってご応募ください。

当キャンペーンの詳細については、下記URLからご覧いただけます。

<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-kenchu6jikanet05.html>

また、一部商品をご紹介しますので、対象店舗で見かけた際にはぜひご賞味ください！

ふくなかすいーつの  
一部商品をご紹介します  
ます！！





## ～お知らせ～

農作業を行う際には注意しましょう！！

【農業振興普及部】

9月30日現在、当管内でトラクタ等農耕車の転倒・転落による死亡事故が3件発生しています。これらの死亡事故は複数の要因により発生しました。事故の一例として「走行時、ブレーキを連結していなかった」「安全フレームをたたんでいた」「あせって作業していた」「一人で作業していた」「路肩の確認が不十分だった」「草が繁茂していて道幅が狭くなっていた」等が要因となっています。

トラクタは重心が高くバランスが崩れやすいので、安全フレームを装備したトラクタ使用時は必ず安全フレームを立てましょう。また、坂道など傾斜がある場所では、道幅や路肩を確認し、安全な道幅を確保するとともに狭い道への無理な進入はやめましょう。余裕を持って作業する、機械の点検・清掃時はエンジンを切るなど農作業事故を招かないよう注意しましょう。

県中管内の地元農産物や6次化商品が当たります！

【企画部】

消費者の皆様に県産農林水産物の価値を伝え、販売・消費拡大を図ることを目的に民放テレビ局の番組のプレゼントコーナーにおいて、県中管内の市町村の地元産農産物や6次化商品が抽選で当たる企画を実施中です。

ぜひ、この機会に応募して各市町村自慢の商品をGETしてはいかがでしょうか。

### 【福島中央テレビ (FCT)】

1 番組名：ゴジてれChu！（月曜日～金曜日 15:50～16:50）

「オレンジぼすと」のコーナー

※メッセージを送った視聴者の中から抽選で商品が当たります。

2 実施期間（応募期間）、プレゼント商品及び口数

(1) 11月9日（月）～12日（木）

三春町産・・・コシヒカリ・ひとめぼれ ギフトセット（10口）

(2) 11月16日（月）～19日（木）

浅川町産・・・コシヒカリ 10kg・エゴマ油のセット（5口）

(3) 12月14日（月）～17日（木）

郡山市産・・・ASAKAMA I 887 2kg（5口）

### 【福島放送 (KFB)】

1 番組名：ヨジデス（月曜日～金曜日 15:45～16:40）

視聴者プレゼントコーナー

2 実施期間（応募期間）、プレゼント商品及び口数

(1) 11月10日（火）～13日（金）

天栄村産・・・ヤーコンかれえー、天栄米（コシヒカリ）2kg、ヤーコン  
ヤーコンうどん、アップルジュースのセット（5口）

(2) 11月17日（火）～20日（金）

小野町産・・・黒にんにく1箱（6袋入）（5口）



【三春町の商品イメージ】



【小野町の商品イメージ】

## 野生きのこにご注意！！

## 【森林林業部】

秋を迎え野生きのこが発生するシーズンとなりましたが、福島県の中通り、浜通りについては、すべての市町村で野生きのこ（全品目）の出荷（一部摂取）が制限されています。出荷が制限されている野生きのこは、出荷・販売だけでなく飲食店等での提供や加工用原材料としての使用、譲渡はしないでください。

また、自主検査等により食品の基準値（100Bq/kg）以下であっても出荷、販売等はできませんのでご注意ください。

なお、県内の野生きのこの出荷制限の状況は、下記福島県林業振興課ホームページでご確認ください。



### ○ 県林業振興課 きのこ、山菜類のモニタリングと出荷制限品目・市町村について

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/ringyo-monitoring.html>

お問い合わせ先 森林林業部林業課 TEL 024-935-1367

## ふくしま食育実践サポーターの派遣をしています！！ 【企画部】

県では、食育体験や交流、食生活改善、地域の食文化や郷土食の伝承と等の活動を先進的に実施する方々を「ふくしま食育実践サポーター」として登録しています。

食育実践サポーターには、農林漁業者や調理師、栄養士、野菜ソムリエ等、様々な方が登録されています。

学校や地域団体等が実施する子ども等を対象とした食育活動を支援するため、食育実践サポーターを派遣しますので、派遣を希望される場合は、当事務所企画部までお申し込みください。

**派遣に係る経費（謝金・旅費）  
は県が負担します。**

詳細については、下記ホームページをご確認ください。

◇県農産物流通課ホームページ（制度について）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36035a/supporterseido.html>

◇県中農林事務所企画部ホームページ（サポーター登録や派遣申込について）

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-syokuikusupporter.html>

◇お申込先

県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号 TEL:024-935-1510 FAX:024-935-1314



お問い合わせ  
はこちら！

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540

郡山市麓山一丁目1番1号

ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>

TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314